



第24回北勢線の魅力を探る

星川の観音さんと五反田の大日さんに会いたくて

七和駅～蓮花寺駅 約9K

① 整田之碑

七和土地改良区では昭和51年(1976)から56年に行った農地の区画整理事業を行った。その完成記念碑である。

② 五反田八幡社

元はもっと南にあったが、員弁川の度重なる洪水により、正徳期(1711～13)のころに現在地へ移転された。この地は傳西寺があった場所である。現在の拝殿は明治20年(1887)、本殿は大正12年(1923)の建立である。さらに境内の南側の小高い空き地は、傳西寺に安置されていた大日如来像をお祀りしていた大日堂が昭和45年まで建っていた場所である。

③ 大日堂

昭和45年に現在地に移った。寺号を持たない非法人の寺。安置されている大日如来像は昔、五反田にあった真言宗の傳西寺(前項記述参照)の本尊であった。高さ60cm余の一木造り、13世紀慶派の仏師の作ともいわれるが正確な造立の時期は分からない。この大日如来は五反田の人たちから「雷よけの仏」と尊崇されている。

④ 天皇八幡神社

祭神は品陀和気命(応神天皇)・素戔嗚命(午頭天王)・天兒屋根命など。社名の「天皇」について、「本来は天王とすべきを、応神天皇に仮託して天皇となったものではないか」と推察する。南の参道には桑名市指定天然記念物の芳ヶ崎のクロガネモチがある。

⑤ 星川山多門院安渡寺

星川山多門院と号す真言宗のお寺、伊勢西国33所観音の30番、桑名観音巡り33箇所霊場の28番札所になっている。鎌倉時代の藤原実重の「作善日記」にも「星川の観音堂」として記されている。御本尊の聖観音菩薩は平安時代中期の作とされ、昭和33年に市の文化財に指定された。2015年3月28、29日に中開帳から17年ぶりに、聖観世音菩薩の御開帳(本開帳)が行われた。次は16年後に中開帳が行われる。本堂は朱塗りの鉄筋コンクリート造りで昭和48年の改築。格天井の区画には四季の花が彩り豊かに描かれている。

星川は歴史の大変古いところで、平安時代末期には「星川市庭(いちば)」という物資交換の市場があり、員弁川に港もあった。といわれる。

⑥ 傳西寺

現住職は19世佐々木恵精。本堂には素晴らしい天女の描画や一刀彫の阿弥陀仏が寄進されている。大正14年鑄造の梵鐘は、太平洋戦争のため供出させられたが、戦後四日市石原産業に乳頭が取れた状態で残っているのを村人が見つけ荷車で運んだ。

⑦ 藤が丘デザイン公園

沢山の花木が植わっており、1年中楽しめる場所である。特に桜は種類も多く長い期間花見ができ、名所となっている。入口のシンボルモニュメントは平成2年に大阪鶴見緑地で開催された「国際花と緑の博覧会」のものである。

⑧ 山嘉(やまよし)のみち

行き止まりになった団地の端に階段があり、降りると竹林や雑木に囲まれたゆるやかに曲がった地道がある。この長さ300m程の小道を「山嘉(やまよし)のみち」と勝手に名付けている。車道に出たところに武藤牧場という牛舎があり、近くに平成8年(1991)にオープンした直売の精肉店「山嘉(やまよし)」がある。

⑨ 山神社(下の宮さん)

祭神は大山祇命(おおやまつみのみこと)である。山の神は春には山から里に下って、田の神となり、秋の収穫がすむと、また山に帰るといわれる。

